

曹洞宗の名称は、中国の禅僧洞山良价とその弟子曹山本寂の各一字から採ってつけられている。宗門では一仏両祖と言い、お釈迦様と二人の祖師を中心においている。高祖道元禅師は福井県吉田に永平寺を開山し、後の太祖瑩山禅師が神奈川県鶴見に総持寺を開山した。

令和四年四月八日 大中臣正比呂 記

(川端康成の「美しい日本の私」より)

春は花 夏ほととぎす 秋は月

冬雪さえて すすしかりけり

じょうよう
承陽大師 どうげん
道元



御詠歌「法灯」

とことわ

常永久に人を済して今もなお

わた

禅師の慈悲は世を照らすなり

じょうさい
常済大師 けいざん
瑩山